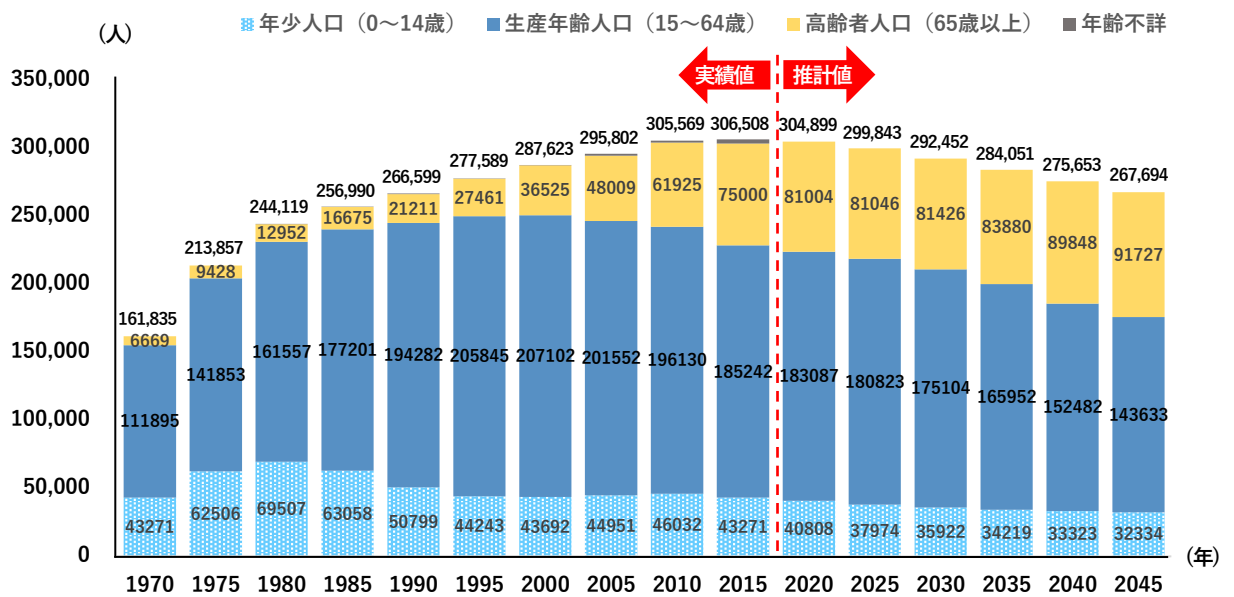


3 春日井市の現状と課題

(1) 人口の推移と推計

本市の人口は、今後緩やかに減少していくことが予想されます。年齢区分別人口では、生産年齢人口と年少人口が減少する一方で、高齢者人口が増加し、少子高齢化はますます進行することが見込まれます（図表1）。

【図表1】年齢区分別人口の推移



国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所(平成30年3月推計)から作成

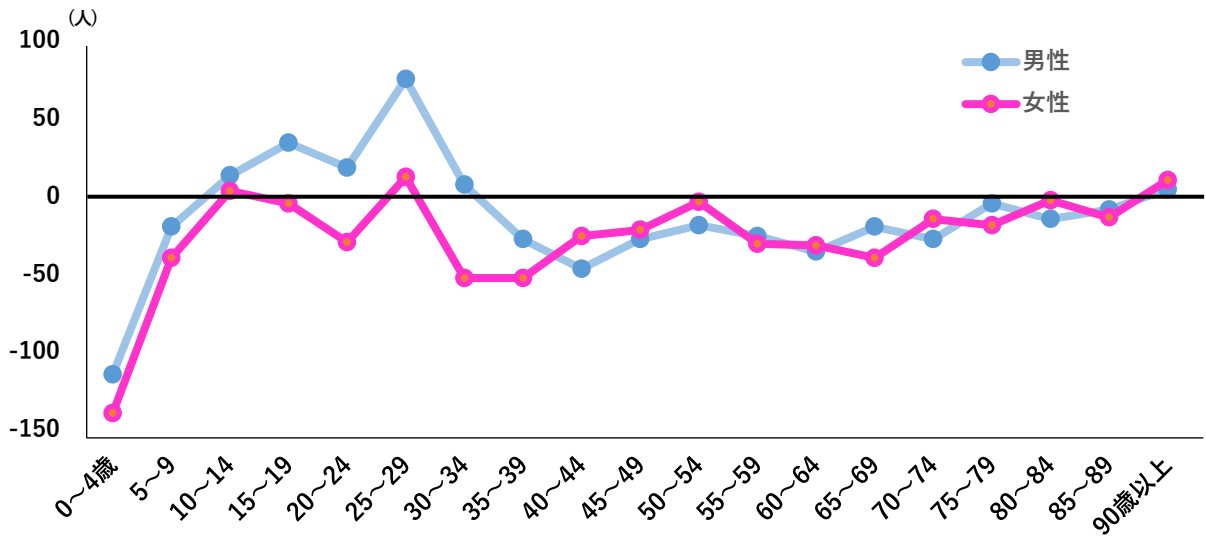
(2) 転出入の状況

近年の転出入の状況は、平成28年から転出者数が転入者数を上回っています。

平成29年の男女別・年代別内訳を見ると、女性はほとんどの年代で転出が転入を上回っています（図表2）。また、特に0-4歳区分の転出が多い状況で、その傾向は拡大しています（図表3）。

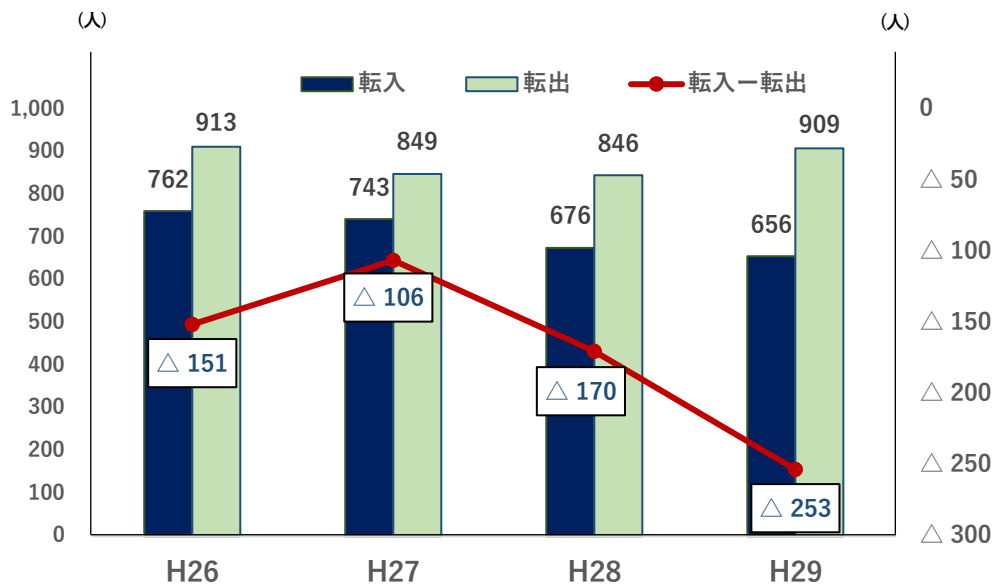
転入元と転出先は、いずれも近隣自治体間が大半で、特に守山区への転出が多くなっています（図表4）。これは、大規模な土地区画整理事業による宅地供給が活発に行われていることが要因であると考えられます。

【図表 2】平成 29 年男女別・年代別転出入超過者数



住民基本台帳人口移動報告（総務省）から作成

【図表 3】転出入者数及び転出超過者数の推移(0 - 4 歳区分)



住民基本台帳人口移動報告（総務省）から作成

【図表 4】直近 4 年間の転出入の状況

【全体】

転入元		転出先	
小牧市	2,730人	守山区	2,798人
守山区	2,180人	小牧市	2,387人
北区	1,658人	北区	1,517人
多治見市	920人	瀬戸市	888人
瀬戸市	832人	西区	869人

【0 - 4 歳区分】

転入元		転出先	
守山区	195人	守山区	295人
小牧市	185人	小牧市	242人
北区	132人	瀬戸市	121人
一宮市	61人	多治見市	120人
中川区	58人	北区	109人

住民基本台帳人口移動報告（総務省）から作成

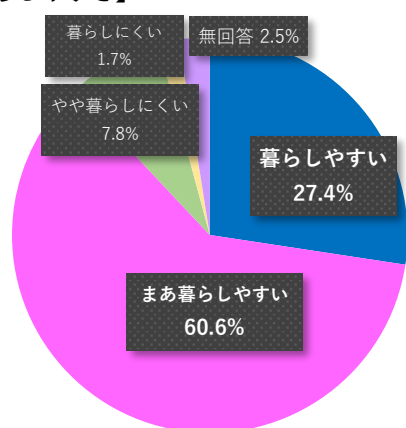
(3) 市民の意識

本市の暮らしやすさと今後の居住意向については、それぞれ約9割の市民が「暮らしやすい」、「今後も暮らしたい」と回答しています(図表5)。また、ヒアリング調査においては、子育て世代が本市について肯定的なイメージを有していることが分かりました。一方で中部大学生は、市内での就職を希望する人が少ない状況となっています。これは、学生に春日井市のことが知られていないことが原因であると推察されます。

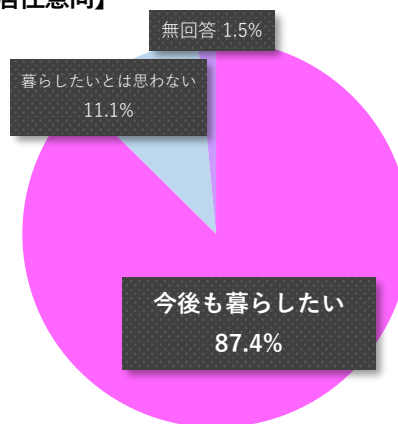
■ アンケート調査

【図表5】市民の本市に感じる暮らしやすさと居住意向

【暮らしやすさ】



【居住意向】



出典：H28年度市民意識調査

■ ヒアリング調査

ア 子育て世代から見た春日井市

■ 春日井市を一言で表すとどんなまち？

- ・ 住みやすいまち ・ 家族のまち ・ 家族で住みやすいまち
- ・ 子育てのまち ・ 名古屋のベッドタウン
- ・ まちと自然のバランスが良いまち ・ 自然が多いまち
- ・ 子育てしやすいまち ・ 公園が多いまち

(最近市内に転入した20～30代の母親10人、守山区在住30代の母親1人からヒアリング)

イ 市内企業勤務者から見た春日井市

■ 春日井市のイメージは？

- ・ 都会過ぎず、田舎過ぎず ・ 車があれば住みやすい
- ・ 公共施設、学校、自然、公園があり住みやすく教育にも良い
- ・ 子どもに色々体験させたいので、子ども対象のイベントが多いのは良い
- ・ 店が多く生活に便利

(今後住み替えを予定している20～40代の市内企業の社員9人からヒアリング)

ウ 不動産事業者から見た春日井市

■ 顧客に人気のエリア

- ・ 駅の近く。特に JR は通勤のある方からの要望が強い。勝川駅周辺は名古屋駅周辺と同じくらいに価格が高騰している。
- ・ 小中学校の近く。校区を気にする世帯もある。その判断基準は“口コミ”が強い。
- ・ 大きな商業施設へのアクセスが良いところ。
- ・ 数軒まとめて分譲しているところ。地域に溶け込みやすい。

※ 市町村は最初に決めることが多く、行政を比較して決めることはない。

■ 顧客が気にすること

- ・ 水害の危険性。ハザードマップと見比べて確認する人もいる。
- ・ 保育園に入れるかどうか。住宅購入人気エリアは保育園に入れない。
- ・ 治安。盗難、事件などのイメージがある様子。

(市内不動産事業者からヒアリング)

エ 中部大学生から見た春日井市

■ この先就職するなら…

春日井がいい	春日井でもいい	市外がいい
0人	22人	44人

【市外に就職したい理由】

- ・ 就きたい仕事がない。
- ・ そもそも春日井の企業と言われてもピンとこない。
- ・ 仕事や企業の情報があれば考慮はするかもしれない。
- ・ 地元に戻る予定でいる。
- ・ ずっと市内なので外にも出たい。
- ・ 市内の人間ではないので何とも言えない、よく分からない。
- ・ 車がないと駅近く以外の交通の便が悪い。

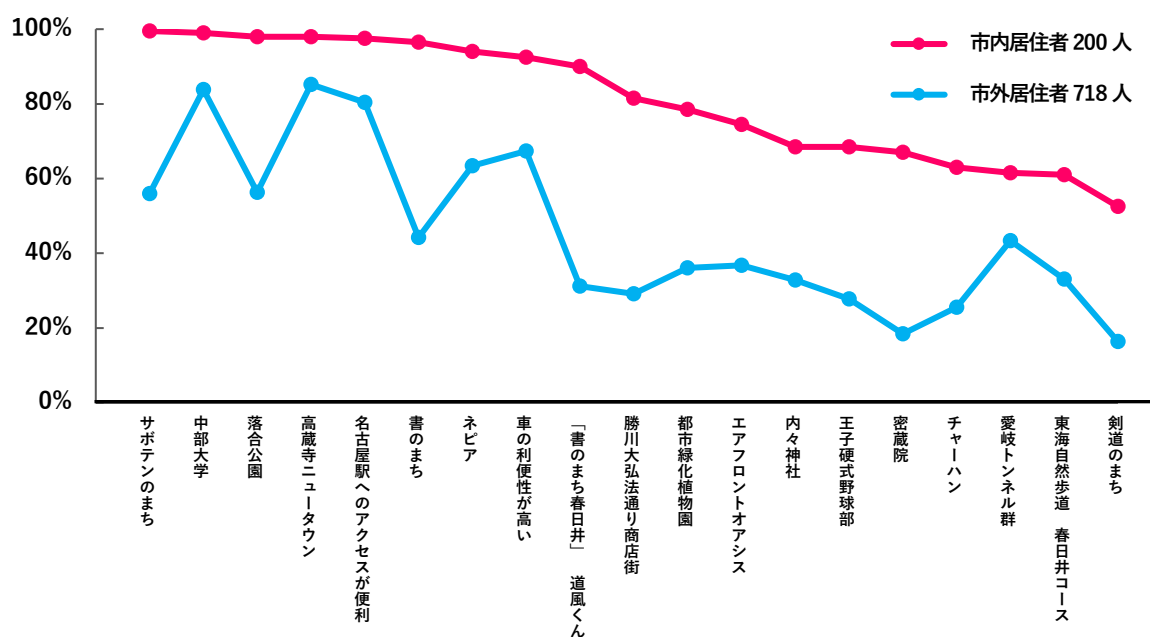
(中部大学生 66 人からヒアリング)

(4) 資産の認知

市内外における本市の資産の認知状況は、次のとおりです。

「中部大学」や「高蔵寺ニュータウン」、「名古屋駅へのアクセスが便利」は市内外ともに認知が高い一方で、市外における「書のまち」や「サボテンのまち」の認知が低い状況となっています（図表6）。

【図表6】春日井市の資産認知度



H28.3 春日井市地域ブランド調査